



たーいーろく

しよーりーち

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

こんにちは。ぱいんですっ！この度は我がつるつるパイん第2弾再録本『さいろくしょうじょ いち』をお手にとって頂き本当にありがとうございますっ！

再録本第2弾目はプリズマ☆イリヤ本となりました。まさかこんな早いペースで再録本を発行するとは思っていなかったのですが、これもお手にとって頂ける皆様のおかげですし、ご要望を多く頂いたからにはしっかりお応えするのが我がつるつるパイんのモットーですっ！

と言う訳で、今回は現在既に在庫が無く増版の予定も無い『ふえちゅぱしょうじょ』『ぺるぺるしょうじょ』の2作品を1冊に纏めた仕様です。

この作品は両方とも2015年に発刊したものです。この頃は星奈ちゃん再録本にも書いたんですが、編集もまだまだ甘く内容も絵を描いて載せるだけで精一杯…という感じでした。今はちょっとだけ昔よりマシになったと思うんですが…

話を元に戻して…当時ははがないの星奈ちゃん本を出して、お求め頂いていた方々から『あー、このサークルは大きい娘のキャラ本系で行くんだらうなあ』と思って居た所で、このプリヤ本の発刊でしたので、結構びっくりされた事もありました。ただ、実は作画を担当しているピケルさんは小さい娘の方が好きなんだそうです。このプリヤ本もぱいんの中の人企画したのではなく、ピケルさんの持ち込み企画からスタートしたものでした。

ただ、あまり言いたくない事でもあるんですが、このご時勢どうしてもこういったキャラクターが出てくる本は規制が厳しくなっているのも事実です。いつ発行自体がダメだよ！と言われるかも判らないのですが、やはり私達は『好きになったキャラクターが忘れられないし、忘れたくない』という気持ちの元に『ifの世界』でこういうことがあったら、面白いかも…？という表現をし続けて行きたい気持ちが強いですね…

実は今回の再録本には収録出来なかったページが存在しています。当時のままの雰囲気掲載をしたかったのですが…これも規制の波というものなのではないでしょうか…実際、当時の本をダウンロード版として頒布しようと思ったんですが、頒布先の検閲に引っかかってしまい、止む無く削除するということも起こりましたし…当時のオリジナル版をお持ちの方は『あー、このページダメなのか…』と思いつつ今回の再録版を見て頂ければと思います。いつかそのページも再公開出来ればいいなあ…

では、『ふえちゅぱしょうじょ』『ぺるぺるしょうじょ』の2本、お楽しみください！



あ



イリヤの前で
クロにあんな事
されてから

最初は気にしないように
していたけど……



こめんね……イリヤ……♡

んっ♡

はっ♡

はっ♡

はあ

ギズ

はあ

はっ♡

ドキ

イリヤ……

はっ♡

モ♡♡♡

ハッ♡

モ♡♡♡

段々イリヤの事を考えるたびに
カラダがヘンになって……
自分のしてる事もどんどん
エスカレートして……
ダメだってわかってるのに
やめられない……



ガッ♡

ごめんね……イリヤ……
また、イリヤの机……使わせて……

イリヤ……



ギョ
ギョ

おっすれちや……

は……

は……

は……

は……

は……

ゴ
ゴ
ゴ



んっ……あそ……
イリヤの机……
こすれて……

ぐわわ

ムニ

だら だら



だれもない教室で……



こんな事……

びるびる

ホッ

多分イリヤも知らない……

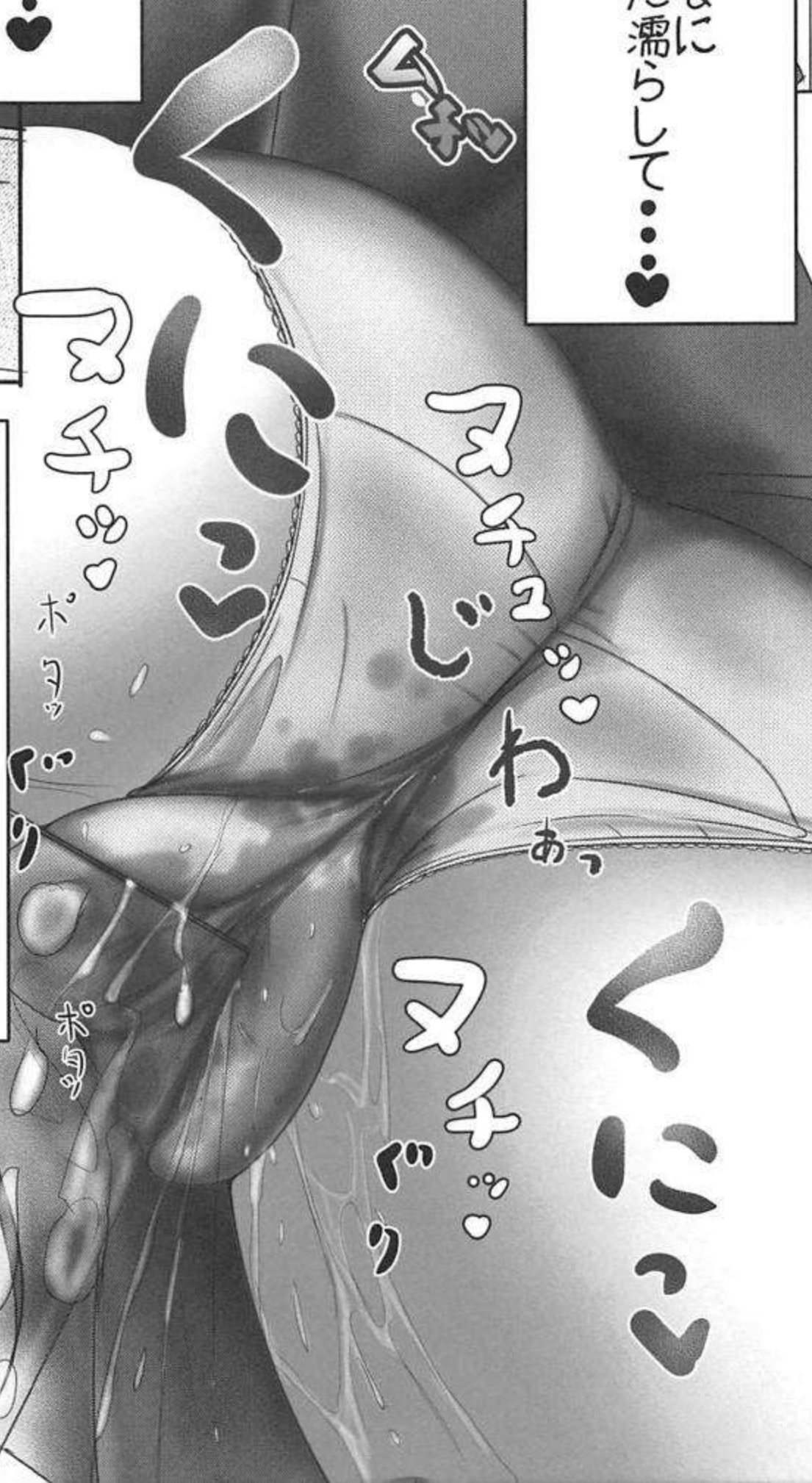


あなたの机にアソコをすりつけて……♡

こんなにおまた濡らして……♡



きつとすぐくいやらしい顔しちやってるって事……♡



イリヤ……♡

もし……

もしもイリヤが
見てたら……

イリヤ……
どんな顔
するかな……

ダメっ……♡

あ♡
あ♡
あ♡

イリヤ♡
イリヤ♡

イリヤ♡

見て♡……
もっと見て……♡

はっ♡

カッ

カッ

イリヤに見られると……♡
アソコにするのッ……♡
敷しくなっちや……♡
ダメッ……♡!
イリヤ……イリヤ……!!
見ちや……♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡

ヌチ♡



あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

あゝ

イリヤの机に…
アソコをすりつけて…

あつ…
くるっ…
きちやじっ…

ぬちゅちゅ

ぬちゅちゅ

ぐんぐん
くちゅっ

カカ
カカ

こんな恥かしいかつこ
してっ…
あつ…あつ…
あつ…あつ…

カカ



リコーダー……のサイニイ



……ごめんねイリヤ
またやっちゃんねった……

……ん(泣)ね……



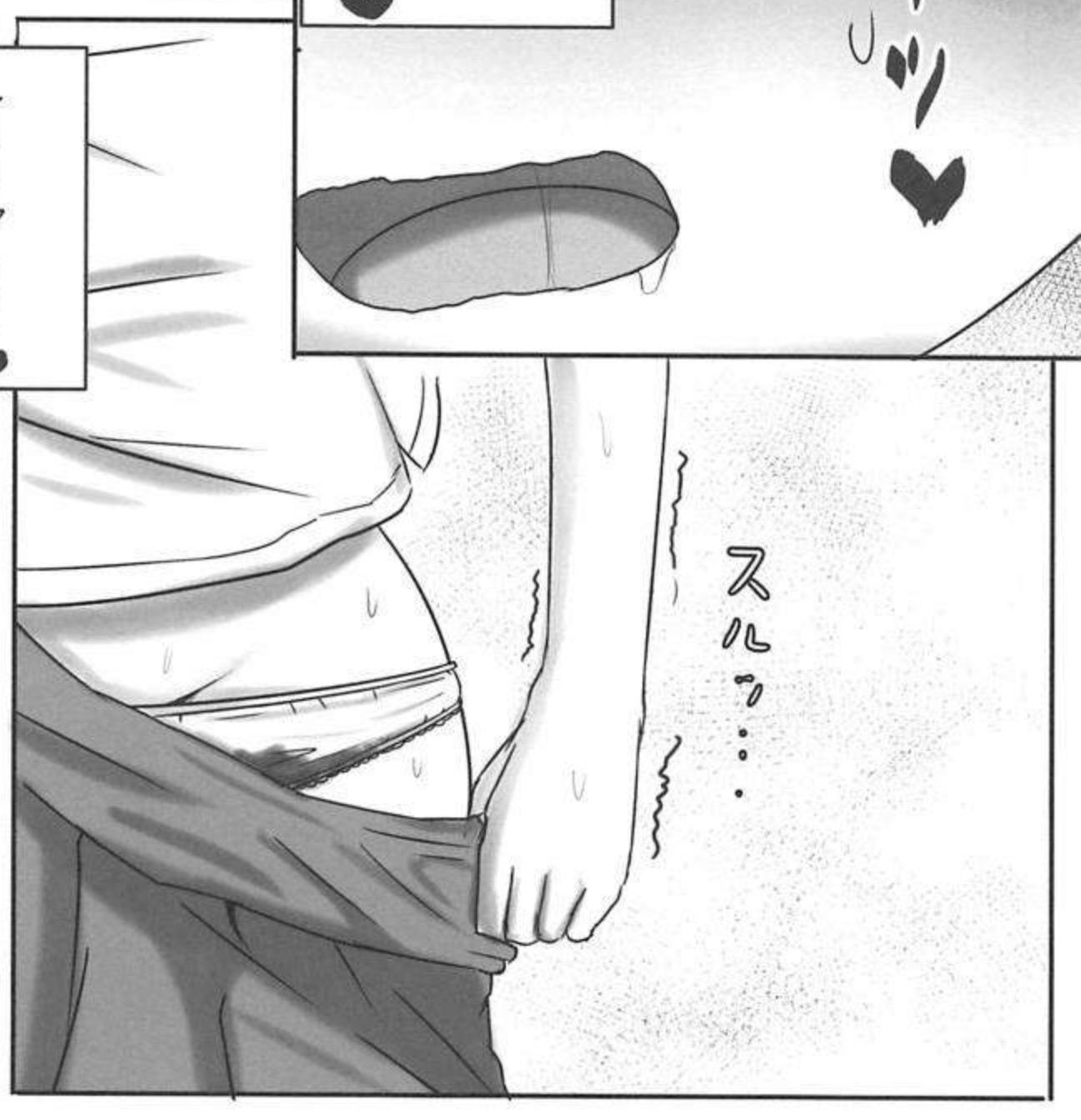
……

でも……
ちよっと……
ちよっとだけ……

ギィ



イリヤ……



スルッ……

んっ……イリヤあ

イリヤのリコーダー……
ドキドキする……
イリヤと……き、キス……

イリヤっ♡
はっ♡
はっ♡

イキ♡
イキ♡

あっ……

はっ♡

だ
ん

あっ……ダメ
イリヤ……

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡

わたし……
我慢できない……

はっ♡
はっ♡

はっ♡

はっ♡
はっ♡

は——♡
は——♡

はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡

んっ♡
んっ♡

とろ……
とろ……

れ
ろっ

おいしい……
おいしい……

はっ♡
はっ♡

あつ♡わたし♡
すっごくくいやらしい事
してる♡

イリヤ
イリヤ

イリヤのリコーダー
アソコにごすりつけて♡

メェン♡

いっ♡あつ♡
イリヤにアソコ舐められてる
みたいでキモチいい♡

メェン♡

メェン♡

あ♡あ♡あ♡

えっ♡♡♡
入っ♡♡♡
てえ♡♡♡

メェン♡





もう一回...今の...すごいっ

イヤッ♡

モ...♡

もっとイヤなので
きもちよくなりたいたい...

←ちみ♡



くるっ♡
イヤのが...
入ってえ♡

入ったああ♡

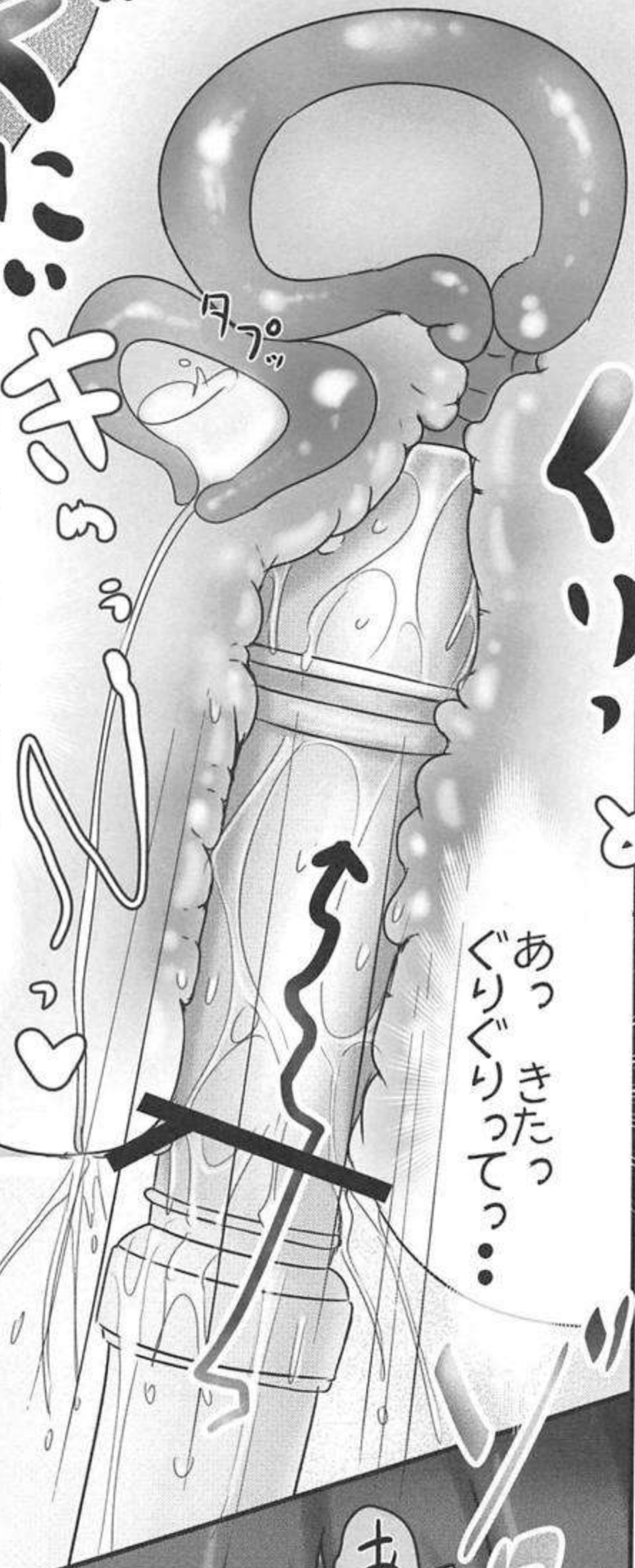
♡

クワッ♡

びくびく♡

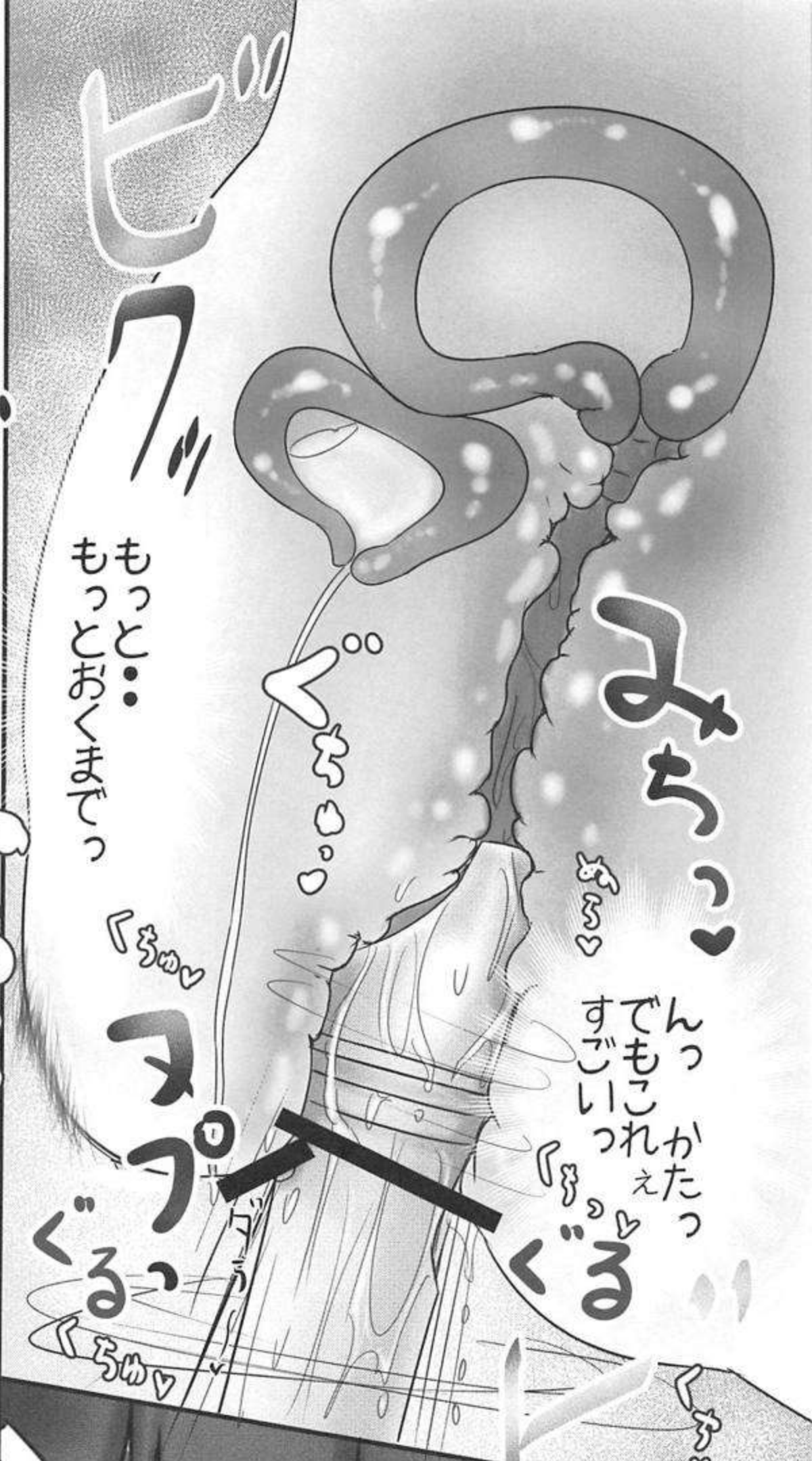
あーっ

リコーダーのくびれる...
 ぐにっ
 キモチいい...



あつ
 きたっ
 ぐりぐりっ...

あーっ



もっ...
 もっ...
 おおっ

あーっ

でんっ
 すごい
 つかえ...
 たつ

あーっ



入れちゃった……♡
イリヤがおくちにくわえてた
リコーダーアソコにつっ♡
奥まで入れちゃったっ♡

ビッ
ム

ゴッ
ゴッ

はっ
はっ

ぱっ
ぱっ

タッ
タッ

ムッ
ムッ

ムッ
ムッ

ぶっ
ぶっ

ゴッ
ゴッ

キッ
キッ

スッ
スッ

スッ
スッ

あっ♡一番奥のおくちまで
イリヤとっ♡キスっ♡

ぞっ
ぞっ

あっ
あっ

ま、また♡くるっ♡
イリヤ♡見ててっ♡

アッ
アッ

とっ
とっ

アッ
アッ



イリヤに
見られながら……♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

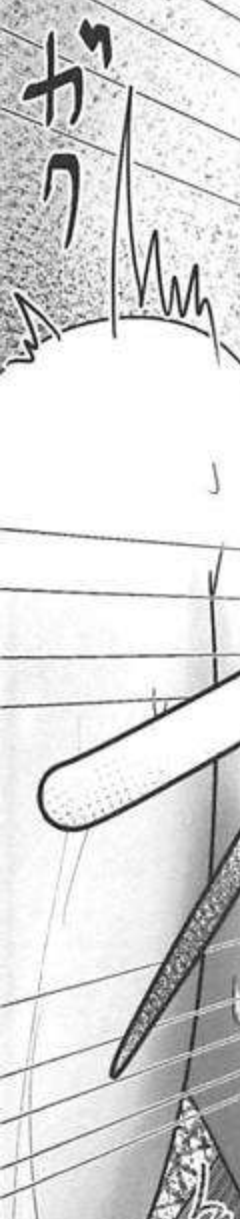
イリヤの♡
ワタシの♡
入った♡
あつた♡
あつた♡

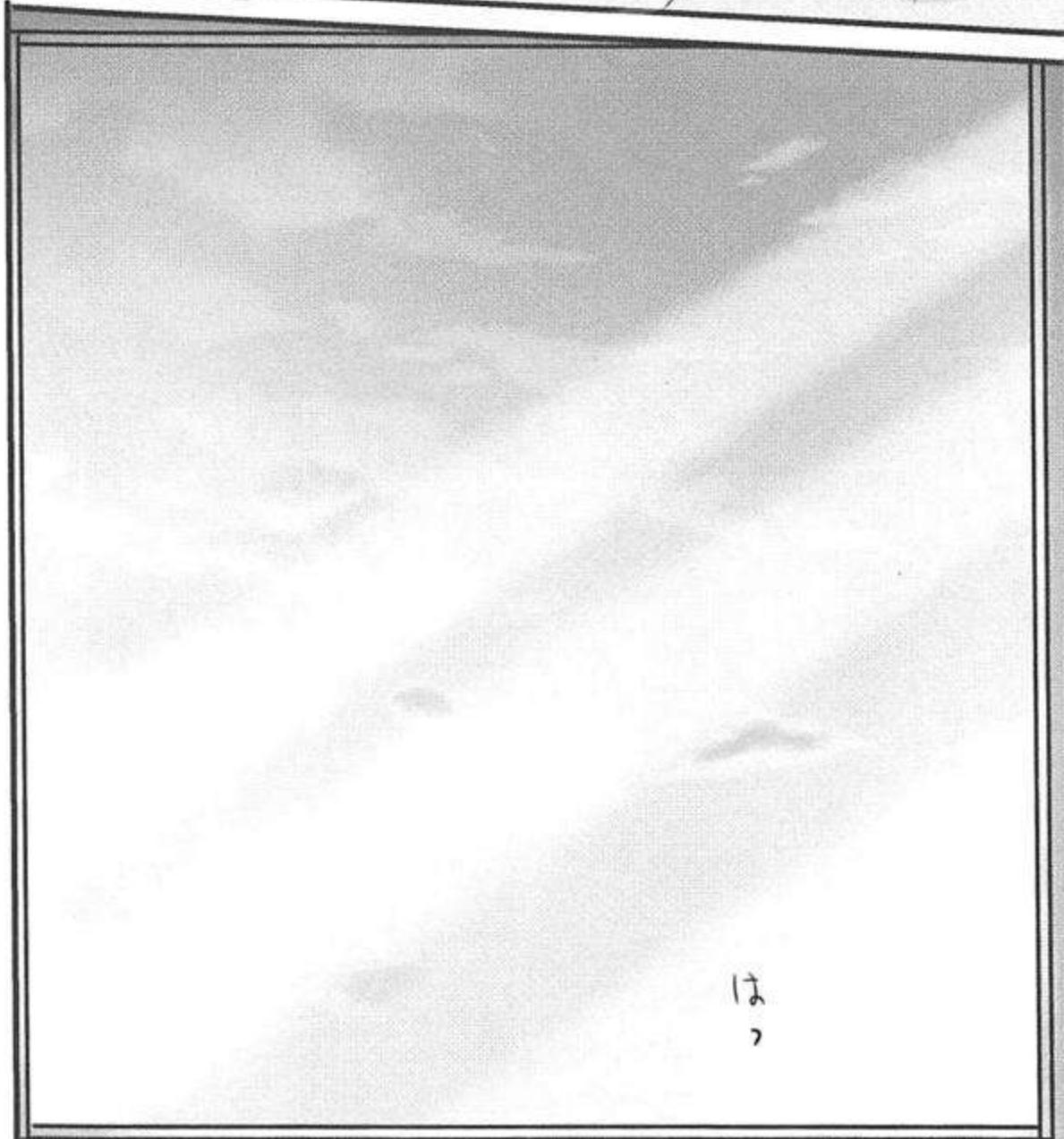
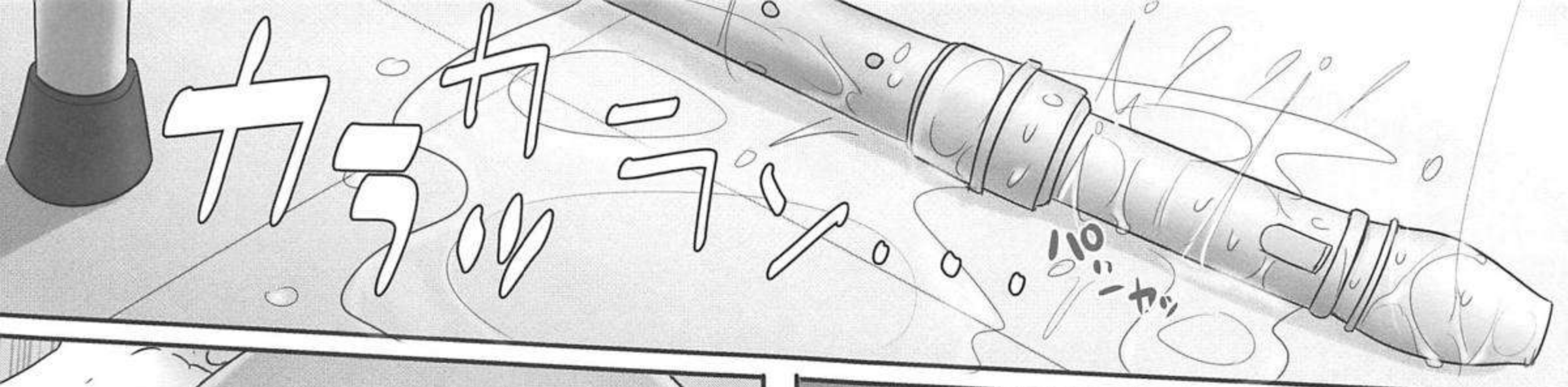
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡

あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡
あ♡あ♡あ♡あ♡あ♡







お風呂から出たばかりの二人

イリヤっ♡♡ごめんねっ...
もういくっ♡♡

あ



あ

イ

いくから見ててっ♡♡
イリヤっ♡♡イリヤっ♡♡
あっ♡♡あっ♡♡あっ♡♡
いくっ♡♡...いくっ♡♡...
いくっ♡♡

ビク

カカ

ク

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ラ

ス

あっ♡♡
イリヤっ♡♡
あっ♡♡

はあ……♡あのこ……こんなトコで何してんのよ…
しかもあそこイリヤの机じゃない…

前から薄々思ってたけど結構スキモノなのね…
んっ……♡どうしよう……わたしもヘンな気分にな
なってきちゃった……♡

はあ♡

はあ♡

っごで一回シちやってもいいけど…
こんな面白いモノ見てほっとく手はないわよね……♡

あゝゝゝゝゝゝ♡
♡♡♡♡♡♡

♡ちゅ♡
♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

♡ちゅ♡

『ずいぶんお盛んじゃない♡』

『こんな濡らしちゃって♡
教室中Hな臭いでいっぱいよ…♡』

『わたしが近づいても気づかないなんて
そんなにイリヤの机でオナニーするの
キモチよかった？』

『んっ…わかったわ…
でも…』

『折角だからあなたのココから
あふれてるHな魔力…わたしに
ちよーだい♡』

『もちるんオ・ナ・ニ〜♡
しながらね♡
もちるんあなたに拒否権なんて
ないのわがってるわよね…♡』

『いや…その…』
『これは…』

『んっそうね…
流石にこのままじゃ
可愛そうだからあなたの
オナニー、手伝ってあげる♡』

ぬるぬる

キツキツ

キツキツ

っん

フル

はーん

はーん

はーん

はーん

はーん

はーん

『えっ…そのかつ…』

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

メ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

はっ

『どっつ？魔力で作って見たんだけど。これならあなたも…ってあー！…あなたのアソコ…♡随分正直じゃない♡カ・ワ・イ・イ♡』

『ほら、どーおつ？
同じ顔だから結構それっぽいでしょ♡』

ドキ♡

『わたしもガマンできなくな
りそう♡』

『あはっ♡このカッコみた瞬間に
すっごくHまりよくな臭い強くなってるよ♡』

ドキ♡

ビシッ



『ああん♡もうガマンできなから先に口から魔力もらうね♡』

チユビ

チユビ...チユビ

チユビ...

(んっ...美遊、キスだけでイってる...♡
かわいい...♡)

(そっだよね...♡魔力吸われるの
キモチイイもんね♡)

(いいわ...♡魔力吸われてどんどんイっちやえ♡)

チユビ

チユビ...

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

チユビ

「ほら♡今度は下のHなおくちから
魔力ちようだい♡」

「ほらほらあ♡美遊のアソコ♡
洪水みたいになっっちゃってるよ♡」

「アッ」

「まつ…待って…♡
今…イったばかりだから…♡
ちよつと待って…♡」

「んもっ…仕方ないなあ…」





『ならば、今度はわたしの「」舐めて♡
 ほら…イリヤのパンツ舐めたり嗅いだりして
 いいんだよ♡』

『んっ♡み、美遊っ…♡がつつき…すぎ…♡
 そんなに焦らなくても逃げないってばあ♡』

あー

「なんだあ♡もう自分でいじっちゃうって♡
さっきまでやめてなんて言ってたくせに
もうガマンできないの?」

「前から思ってたけど美遊ってやっぱり
ホントにヘンタイさんね…♡
ほら、見ててあげるから早くイキなさいよ♡」





『だーめ♡その言い訳はさっつききいたもん♡
んじや、いたただきまーす♡』

ズ

ズ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

『えっ、ク...クワ待って...
今またイッたばっかりで...』

グ

『じやあ今度こそ美遊のココから
魔力吸わせてもらっね♡』

『うわー♡美遊の魔力すっごい濃いよ♡
ほら、肌からも吸収しやすいように脱いだんだから
もっとかラタくっつけてよ♡』

か

か

♡

♡

♡

♡

♡



『ぶはっ…♡ちよつと、美遊
暴れすぎ♡そんなにキモチイイの？』

『んっ♡ダメっ…美遊の舌キモチイイ…っ♡
わたしもイキそう…♡あっ…♡あっ…♡あっ…♡』

あーっ♡
あーっ♡
あーっ♡

いっ♡
いっ♡
いっ♡

あん♡
あ♡
いっ♡
いっ♡
いっ♡

あ♡
あ♡
あ♡
あ♡
あ♡

『さーとしてっ♡
次は美遊になにしてもらおうかなー♡』

『あ…あの、クロコネの…』

『んー？なによ。今あなたに何させるか
考えてるんだから…』



モ
ビ
ッ
ッ

ざ
ッ

ザ
ッ
ッ

『…っ…っ…あ…っ…っ…っ…』

『何よーはっきりしないわねー！
早く言いなさいよー』

『その…っ…っ…っ…行ってきても
っ…っ…っ…』

トイレがああ…

うわ

いいのかなあ…
イリヤの机でシてた事
言っちやっても…

それは…

うう…

ん…

大丈夫♡
ここでおしっこしたらきつと
キモチイイよ♡

うん

してもイイけど…
うんうん♡ね♡

うんうんうんうん
うんうんうんうん

はっ

はっ

ほーら♡大丈夫だから
ここでおももらし♡
しちやおねっ?

クロっ？流石にそれは…

たっ

とっ

あつ♥もう…ダメ…♥
でちや…♥あつ♥あつ♥あつ♥

あ♥タメ♥タメ♥

もうカ…

ク回…

あ…

あ…

は…

は…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

でも…まだこれからだからね♥

うあー♥すごい量…♥
ホントにしちやうなんて美遊のヘンタイ♥

は…

は…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あ…

あとがき

そんな訳で再びぱいんです。『さいろくしょうじょ いち』はいかがでしたか？
最近我がサークルを知った方は『うわあ…こんな本出てたんだ…頑張っていたんだなあ…』と
生暖かい目になっているのではないかと思います…そうなんです！こんな本を出して
いたんですよー！当時はこれが精一杯の努力の結果だったんです…
この『ふえちゆば』『ペろペろ』の両作品が読んで頂けた皆様から好評価を頂けたので
続編に繋がっていきました。特にこの後に発行した『へんしんしょうじょ』は我が
サークル始まって以来のスマッシュヒットを記録する事になるんですが、そのお話は
またあらためて…

さて、我がつるつるパイん今後の予定なのですが、まずは夏コミの本になります。
今回お手にとって頂いたプリスマ☆イリヤ本の最新本が登場予定です！このあとがきを
書いている段階ではまだ制作途中なので予定とさせていただきます…多分大丈夫だと思います
その前に無事スペースを頂ければという前提もあるんですけどね…
無事コミケが終わった後は、ちょっとだけお休みを頂いてご存知の方もいらっしゃると
思いますが、星奈ちゃんの続編制作を進めていく予定です。また現在展開中の
別シリーズ『GirlsPutOut!』の最新作の制作も続けていく予定ですので、是非是非
応援頂ければ幸いです。

それでは、今後ともどうぞよろしくお願ひしますっ！今回はお求め頂き本当に
ありがとうございました。またお会い出来るのを楽しみにしていますっ！
ではでは、ぱいんでしたっ！

さいろくしょうじょ いち

著 者:ピケル
編集者:弦乃ぱいん みなもとけい

発行日:2019年6月22日
発 行:つるつるパイん

印刷所:大陽出版株式会社

mail:info@tsurupai.xii.jp

ピケルtwitter
(@pikel916)



つるつるパイんtwitter
(@tsurupaiinfo)



★警告★本作品の全部又は一部を当サークルに無断で加工・改変し、公衆回線を通じてインターネット上に公開する事を固く禁じます。また本作品は架空の世界を題材にしたものです。実在の団体・人物・法律等とは一切関係ありません。フィクションはフィクションとしてお楽しみください。

パイプ
パイプ
パイプ



さいろくしょうじょ さいち

